

# 富山県感染症発生動向速報

(2025年第17週分・4月21日～4月27日)

※2025年第18週分は5月8日(木)発行予定です。

## ■今週の主な動向

### ○百日咳が今週21例(2025年累積97例)報告されました。

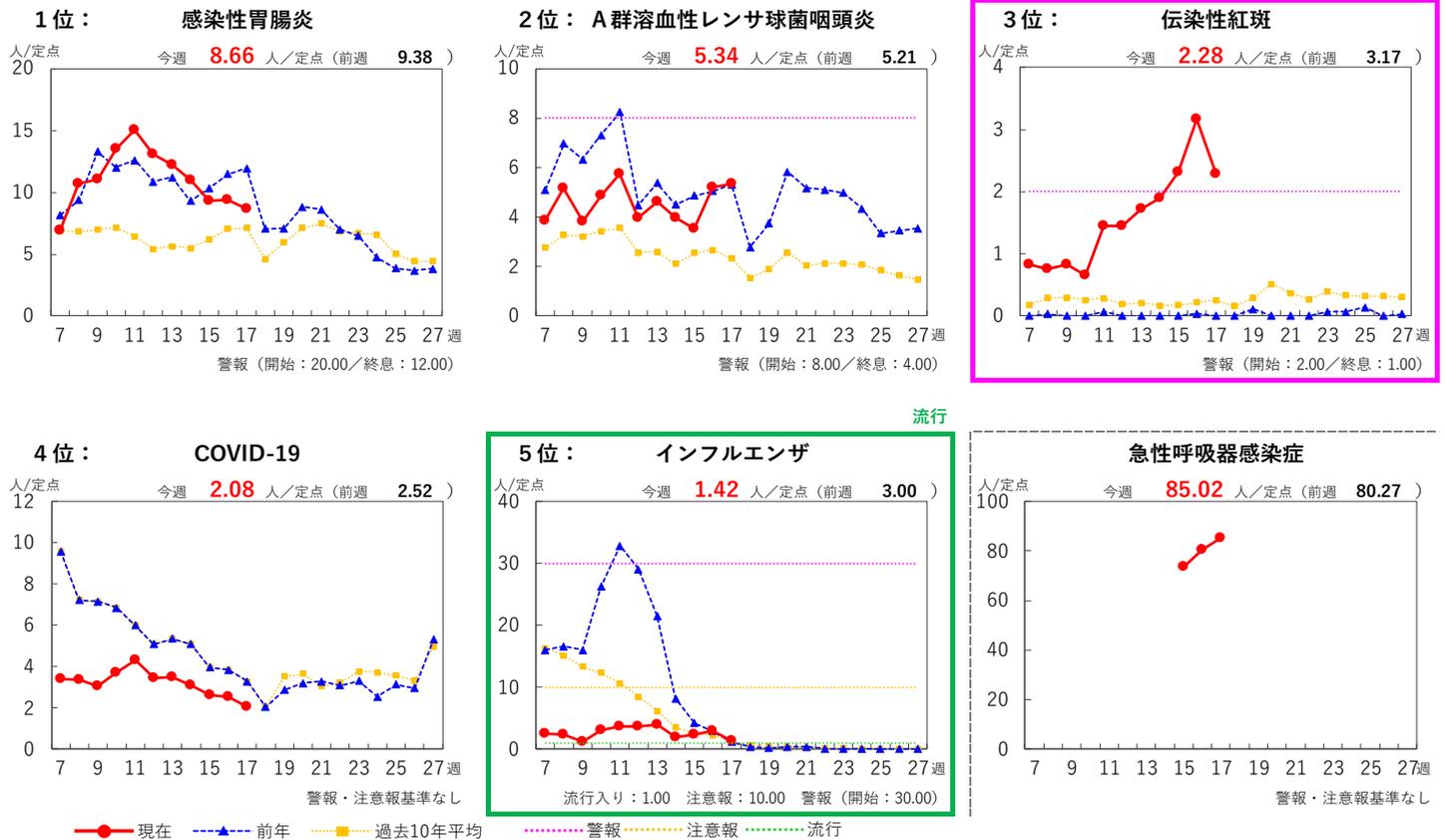
10～14歳の小学校高学年～中学生を中心に百日咳患者の報告が続いています。百日咳は、長引く咳が特徴です。咳が長引く場合は、早めに医療機関を受診しましょう(第14週インフォメーション参照)。

### ○伝染性紅斑の報告数が多い状況が続いています。

伝染性紅斑の報告数は今週減少したものの、第15週から警報開始基準値(2.0人/定点)を超えています。妊婦が感染すると流産等の原因になることがあるので、注意が必要です(今週のインフォメーション参照)。

## ■定点報告の感染症

### 今週の富山県内上位5疾患+急性呼吸器感染症 (第17週・4/21～4/27)



厚生センター(保健所)管内別、直近の推移: <https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/#b1>

## ■全数報告の感染症

- 二類感染症 結核 3件 (①20歳代、男性 ②70歳代、男性 ③70歳代、女性)
- 五類感染症 急性脳炎 1件 (70歳代、女性)
- 梅毒 1件 (第16週診断分: 20歳代、男性、早期顕症梅毒Ⅰ期)
- 百日咳 21件 (①②ともに10歳未満、男性 ③～⑤全て10歳未満、女性 ⑥～⑭全て10歳代、男性 ⑮～⑰全て10歳代、女性 ⑱60歳代、女性 ⑲70歳代、女性)



富山県感染症情報センター(富山県衛生研究所内)

TEL: 0766-56-5431(直通) HP: <https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/>





## 子どものほほが赤くなるリンゴ病 妊婦さんは感染にご注意を

### 《 インフォメーション 》

#### ● 伝染性紅斑（リンゴ病）

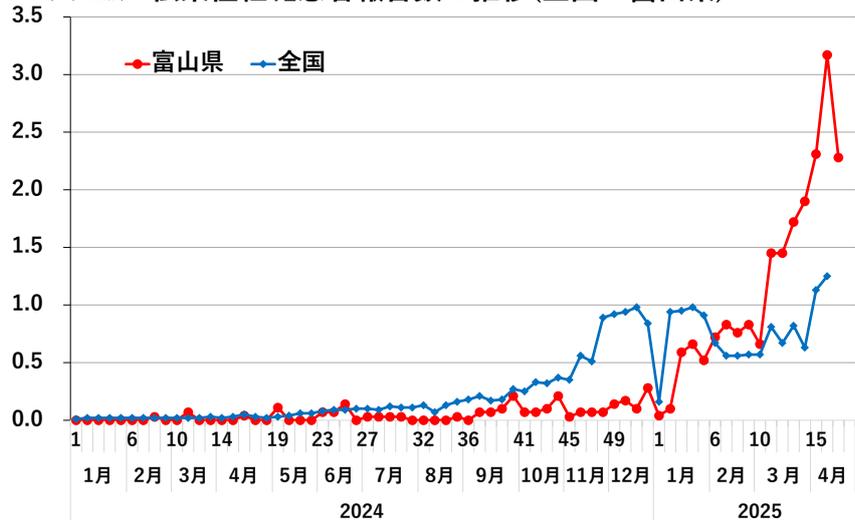
全国の伝染性紅斑患者報告数は昨年夏ごろから緩やかな増加傾向が続いており、先週1.25人/定点となっています（図：青線）。

富山県内においては、今年に入ってから増加傾向が見られおり、3月以降急増しています。第15週には警報開始基準値である2.0人/定点を超えたことから、富山県感染症・疾病対策課は注意喚起を行っています（<https://www.pref.toyama.jp/120511/2025ringo.html>）。今週の患者報告数は2.28人/定点となり、先週の3.17人/定点より減少しました（図：赤線）。

全国、富山県ともに新型コロナウイルス感染症のパンデミック以降、伝染性紅斑の大きな流行はみられていませんでした。パンデミック前には数年毎に流行がみられ、年始から7月上旬頃にかけて増加し、9月頃には減衰する季節性を示すことが多いことから、今後の動向に注意が必要です。

伝染性紅斑は、ヒトパルボウイルス B19 を原因とする小児科定点把握疾患です。患者の年齢は、5～9歳が最も多く、次いで0～4歳が多いとされています。小児の場合、感染後10～20日で両方の頬に「紅斑」が出現し、リンゴの様に赤くなるが多いため、「リンゴ病」とも呼ばれています。紅斑は手足や体に広がることもあります。約1週間で消失しますが、長引く場合や一度消えた紅斑が再度現れる場合もあります。紅斑が現れる1週間～10日前には、微熱や風邪の様な症状がみられます。この時期にウイルスの排出が最も多くなり、感染力が強くなります。一方、紅斑が現れる時期にはウイルス量は少なくなっており、感染力はほとんどないと考えられています。大人が伝染性紅斑に罹患することもあります。子どものように頬が赤くなることは少なく、手足の腫れや関節痛、関節の腫れなどが強く現れます。妊婦が罹患すると、胎児に異常が起こり流産等の原因になることがあります。本感染症の感染経路は主に飛沫、接触感染です。妊娠中は風邪症状のある方との接触をなるべく避け、流水や石けんによる手洗いなどの予防を心がけましょう。

(人/定点) 伝染性紅斑患者報告数の推移(全国・富山県)



○感染症発生動向調査報告状況（2025年第17週 2025年4月21日～2025年4月27日）

分類	疾患	今週報告分（第17週）					累積報告数（2025年第1週（2024年12月30日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核	3					3	5	1	6	4	22	38
	（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く	3					3	4		3	4	13	24
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症									1			1
四類感染症	E型肝炎									2			2
	A型肝炎								1	1			2
	デング熱									1			1
	レジオネラ症								1	2		1	4
五類感染症	アメーバ赤痢									1		1	2
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症									3		5	8
	急性脳炎			1			1			1			1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症							1		1		4	6
	後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）											1	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症							1		1	2	2	6
	侵襲性肺炎球菌感染症							4		3	3	9	19
	梅毒							1	1	2		8	12
	百日咳		1	6	4	10	21	1	3	21	7	65	97
	風しん										1		1
急性呼吸器感染症（ARI）定点（48定点）	急性呼吸器感染症（※1）	384	346	1,438	288	1,625	4,081	1,123	1,061	3,817	774	4,616	11,391
		54.86	69.20	110.62	41.14	101.56	85.02						
	インフルエンザ	6	39	4	3	16	68	897	829	1,641	970	1,818	6,155
		0.86	7.80	0.31	0.43	1.00	1.42						
COVID-19	11	16	19	26	28	100	756	320	881	565	743	3,265	
	1.57	3.20	1.46	3.71	1.75	2.08							
小児科定点（29定点）	RSウイルス感染症	2		9	1	5	17	18	20	94	36	137	305
		0.50		1.13	0.25	0.50	0.59						
	咽頭結膜熱	2	4	6		3	15	46	17	133	2	36	234
		0.50	1.33	0.75		0.30	0.52						
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6	19	47	12	71	155	69	152	773	91	1,050	2,135
		1.50	6.33	5.88	3.00	7.10	5.34						
	感染性胃腸炎	20	8	85	16	122	251	478	411	950	317	2,526	4,682
		5.00	2.67	10.63	4.00	12.20	8.66						
	水痘					10	10	2	8	19	5	85	119
						1.00	0.34						
	手足口病	1		1			2	1	1	10	1	1	14
		0.25		0.13			0.07						
	伝染性紅斑	4	7	28	2	25	66	25	71	245	5	233	579
		1.00	2.33	3.50	0.50	2.50	2.28						
突発性発しん		1	3	2	2	8	3	7	34	12	32	88	
		0.33	0.38	0.50	0.20	0.28							
ヘルパンギーナ							15	1		1	1	18	
流行性耳下腺炎		1	1			2		4	3	1	8	16	
		0.33	0.13			0.07							
眼科定点（7定点）	急性出血性結膜炎				7		7			4	62		66
					7.00		1.00						
	流行性角結膜炎							1		14	1		16
基幹定点（5定点）	細菌性髄膜炎										1		1
	マイコプラズマ肺炎		1				1	12	4	15	15	4	50
			1.00				0.20						
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）			1			1			4			4
				1.00			0.20						
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※2）							55	20	46	67	51	239
	COVID-19による入院患者			2	5	3	10	71	68	49	106	159	453

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 急性呼吸器感染症は2025年第15週（4/7～）より開始しました。（参考：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/topics/ari/>）

※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、2024年第36週（9/2～）の集計です。

## インフルエンザ定点における患者診断状況

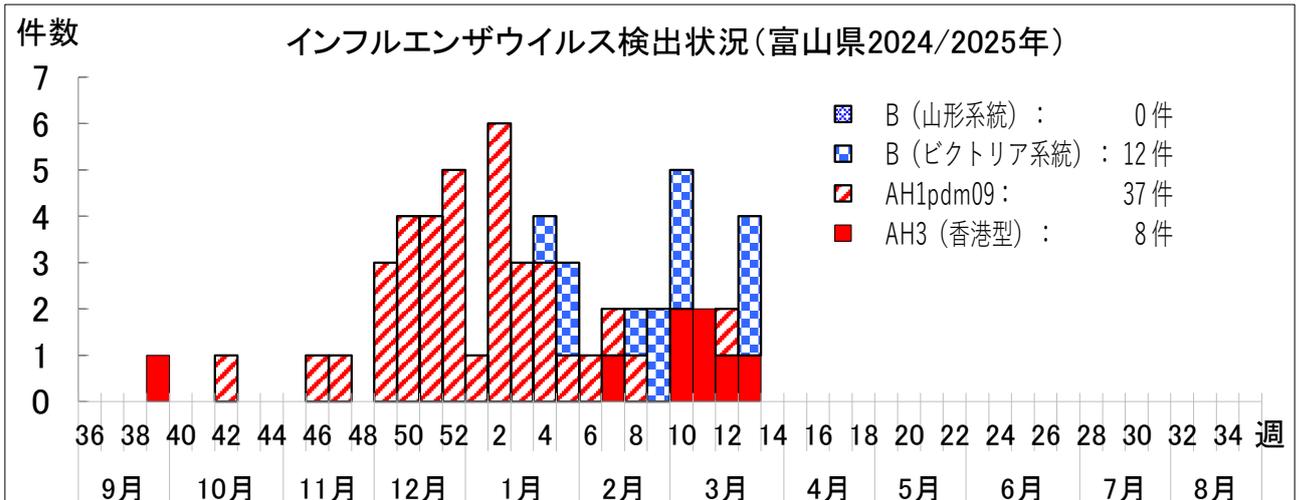
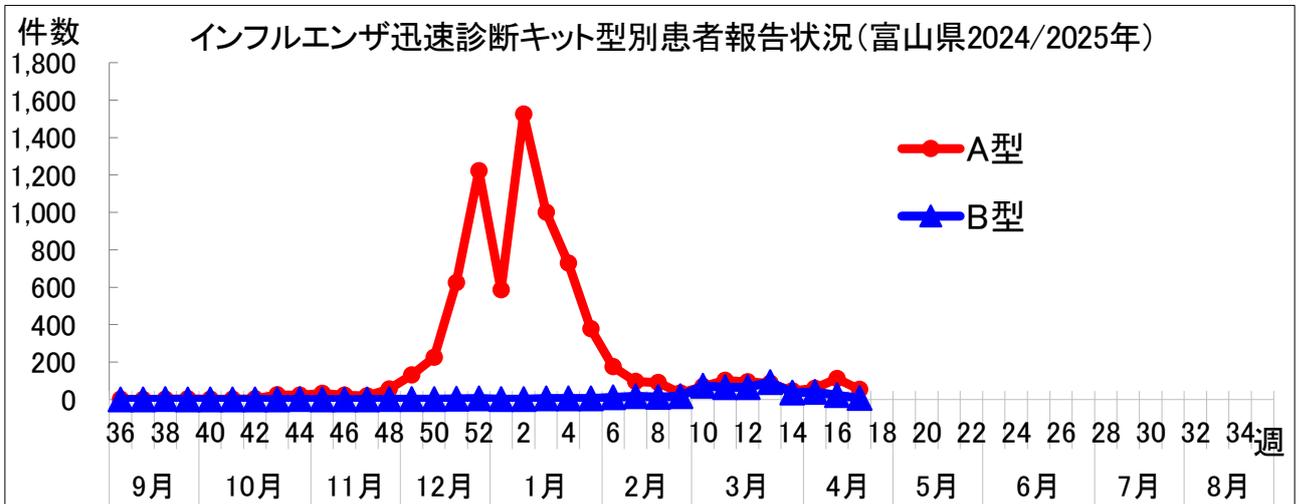
このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

現在、下の表によると、A型が77.9%、B型が11.8%となっています。

### 第17週(4/21~4/27)：富山県 1.42人/定点 (単位:件)

厚生セン ター・ 保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 <sup>※2</sup>	合計
		A型	B型		
新川	3 / 7	2	4	0	6
中部	4 / 5	32	0	7	39
高岡	2 / 13	2	2	0	4
砺波	3 / 7	2	1	0	3
富山市	7 / 16	15	1	0	16
富山県	19 / 48 <sup>※1</sup>	53	8	7	68
富山県累計(2024年36週~)		7,633	497	539	8,669

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が19か所あったことを示します。  
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



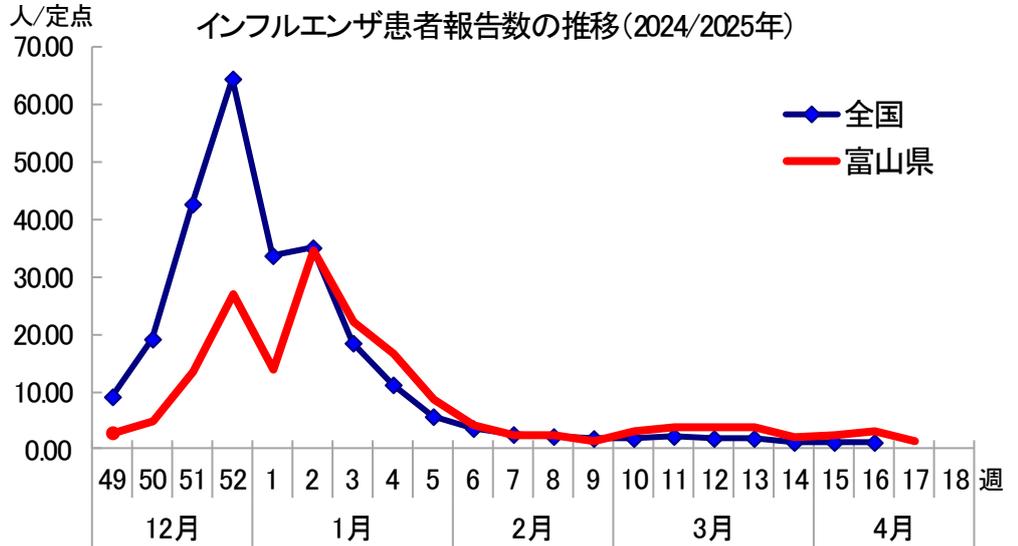


● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第17週 (4/21~4/27) : 富山県 1.42人/定点

新川 HC (0.86)、中部 HC (7.80)、高岡 HC (0.31)、砺波 HC (0.43)、富山市 HC (1.00)

県内の患者報告数は、第17週に1.42人/定点となり、前週(3.00)から減少しました。

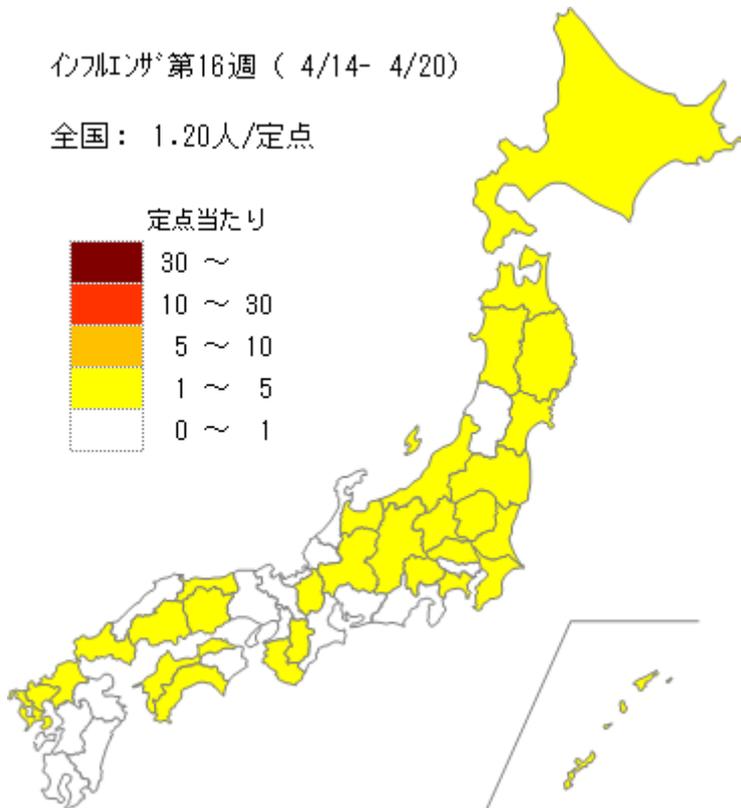


● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第16週 (4/14~4/20)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり1.20人となり、前週の1.19人より増加しました。24府県で前週より増加しています。22都道府県で前週より減少しています。

インフル第16週 (4/14- 4/20)

全国：1.20人/定点



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	1.17 ↓	滋賀県	1.14 ↓
青森県	1.56 ↓	京都府	0.97 ↑
岩手県	2.84 ↑	大阪府	0.97 ↓
宮城県	1.65 ↑	兵庫県	0.92 ↓
秋田県	4.76 ↑	奈良県	1.34 ↑
山形県	0.72 ↓	和歌山県	1.89 ↑
福島県	2.56 ↑	鳥取県	1.59 ↑
茨城県	1.46 ↑	島根県	0.35 ↓
栃木県	1.53 →	岡山県	1.74 ↓
群馬県	1.09 ↓	広島県	1.26 ↑
埼玉県	1.30 ↓	山口県	1.43 ↑
千葉県	1.03 ↓	徳島県	0.18 ↓
東京都	0.94 ↓	香川県	1.80 ↑
神奈川県	1.12 ↑	愛媛県	1.74 ↑
新潟県	1.53 ↑	高知県	1.58 ↑
富山県	3.00 ↑	福岡県	1.19 ↑
石川県	0.88 ↓	佐賀県	2.83 ↑
福井県	0.90 ↑	長崎県	1.04 ↓
山梨県	1.17 ↓	熊本県	0.58 ↓
長野県	2.02 ↑	大分県	0.55 ↓
岐阜県	1.40 ↑	宮崎県	0.96 ↓
静岡県	0.58 ↑	鹿児島県	0.42 ↓
愛知県	0.72 ↓	沖縄県	2.31 ↓
三重県	0.58 ↑	全国	1.20 ↑